

# 3月の県内景況は、各業界の景況に改善が見られたが、円安・コスト高騰により収益状況の改善までは至っていない。

情報連絡員による平成27年3月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は17.0%（前月比+0.3）となっており、「横這い」は42.4%（同+4.1）、「低調」とするところが40.6%（同-4.4）、業界全体の「景況感DI」は-23.7（同+4.6）となっています。

## 1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「販売価格」「取引条件」「設備操業度」「雇用人員」の項目において前月と比較して改善しています。

## 2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、建設業は「晴れ」、食料品製造業、繊維製品製造業、鉄工機械製造業、その他の製造業、小売業及び製造業は「曇り」または「薄曇」、その他の業種はすべて「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が20.3%（前月比-9.7）と減少しております（好転の回答0件、やや好転の回答12件）（製造業7、非製造業5）。また、変わらないが、61.0%（前月比+9.3）と増加しております。やや悪化、悪化の見込みは、18.7%（前月比+0.4）と増加しております。

平成27年3月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率98%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況			
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比		
食料品製造	☀️	-28.57	☁️	0.00	☀️	28.57	☁️	0.00	☁️	0.00	☀️	14.29	☁️	-14.29
繊維製品製造	☁️	0.00	☀️	33.33	☁️	0.00	☁️	0.00	☁️	0.00	☁️	0.00	☁️	0.00
木材製品製造	☁️	0.00	☁️	-75.00	☁️	-25.00	☁️	-25.00	☁️	0.00	☁️	0.00	☁️	-75.00
鉄工機械製造	☀️	60.00	☁️	0.00	☁️	0.00	☁️	20.00	☁️	0.00	☁️	0.00	☁️	-20.00
その他の製造	☀️	42.86	☀️	14.29	☁️	0.00	☁️	28.57	☁️	-14.29	☁️	-14.29	☁️	-14.29
卸売業	☀️	66.67	☁️	-66.67	☀️	33.33	☀️	66.67	☁️	0.00	☁️	0.00	☁️	-66.67
小売業	☀️	55.56	☁️	-44.44	☁️	0.00	☁️	-22.22	☀️	11.11	☁️	0.00	☁️	-22.22
商店街	☀️	33.33	☁️	-50.00	☁️	0.00	☁️	0.00	☀️	16.67	☁️	-50.00	☁️	-50.00
サービス業	☀️	28.57	☁️	-42.86	☀️	14.29	☀️	28.57	☁️	0.00	☁️	-28.57	☁️	-14.29
建設業	☁️	-20.00	☀️	20.00	☀️	0.00	☀️	20.00	☀️	20.00	☀️	20.00	☀️	20.00
運輸業	☁️	0.00	☁️	-33.33	☁️	0.00	☁️	33.33	☁️	0.00	☁️	0.00	☁️	-33.33

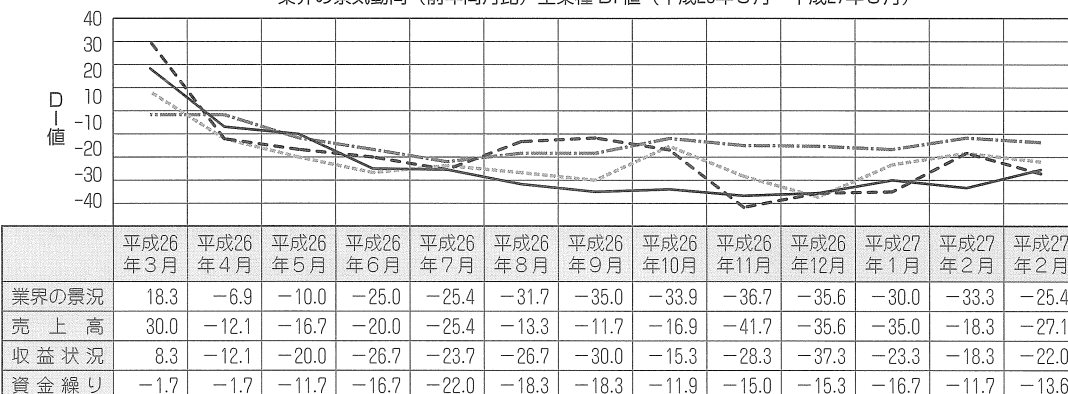
### 天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

### D・I値基準値

- ☀️ 快晴 30以上
- ☀️ はれ 10~30未満
- ☁️ うすくもり -10~10未満
- ☁️ くもり -30~-10未満
- ☔️ 雨 -50~-30未満
- ☔️ 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（平成26年3月~平成27年3月）



## 食料品製造業

### <漬物>

昨年は消費税増税による駆け込み需要の影響があり、昨年対比で非常に厳しい状況。

### <味噌醤油>

円安が続いており、海外依存の原材料が高騰し続けている影響により、それに伴う味噌・醤油の主原料および副材料の値上げが実施され始め、製品値上げに踏み切れない当県組合員の事業経営は厳しい状況にある。震災から4年経過したが、風評被害は深刻さが続いている。

### <菓子>

原材料のうち、乳製品関係が値上げになっており、製品販売価格への反映がしづらい状況。酪農家の減少が価格を押し上げている。輸入原材料は全てコストアップになっており、苦慮している。

### <酒造>

売上は好調で、今月は特に純米酒、本醸造の伸びが良く、普通酒も昨年並みだった。4月からのデステーションキャンペーンに期待したい。

### <食品団地>

原油価格の変動が大きく、収益は厳しい状況である。4月からは大型観光キャンペーンが始まるが、徐々に関連する業界に盛り上がり波及することを望み、キャンペーン終了後も継続することが大切であると考えられる。

## 縫製品・同製品製造業

### <ニット>

今月は生産の隙間になり、状況はあまり良くない。原料が非常に値上がりしているので、心配である。

### <縫製品>

夏物の繁忙期を迎え、受注が好転し操業度は上がってきた。しかし販売価格の上昇は見られず、人手不足状態が続く、収益状況の改善まではまだ時間がかかりそうだ。

## 木材・木製品製造業

### <製材業>

長引く住宅需要の不振に加え、外材製品との競合もあり、スギ柱角を中心に構造材売れ行きが悪いことから、製品相場は一段下げとなっている。一方、丸太価格は製品需要の減少と出材が順調なことからここにきて徐々に下げ、概ね平年並みの水準に戻った。

### <外材輸入>

消費税駆け込み住宅着工の反動から抜け出せず、新設着工数は低迷したままである。さらに現地価格も弱含みとなり、先安感から売上、販売価格も下落している。

## 紙・紙加工品製造業

### <紙器・段ボール>

非常に厳しい経済環境にあの原発事故、風評被害、消費税の増税等で時代の変遷に組合員企業の減少が止まらない。経済の回復基調がわれわれ小規模企業の回復・支援につながることを願っている。

## 印刷業

### <印刷>

増税前の駆け込み需要があった昨年に比べると、今年度の年度末は各社ともに売上は低迷しているようである。

## 窯業・土石製品製造業

### <陶磁器>

今年の3月は観光客の団体が入ったので、昨年同月より多少の売上増があった。

### <碎石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 2%の増
2. 当月売上高の昨年同月比 約9%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約21%の増
4. 原因・状況 年度末で公共工事等と除染工事関連への出荷が多かった。

### <生コン>

平成27年3月の組合員生コン出荷数量は、165,696㎡と対前年同月比4.3%の増。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比4.4%の減、官公需が18.3%の増であった。

#### ■民需の動向

対前年同月比 4.4%の減

#### ① 対前年同月比増加地区

<いわき地区> 16.5%の増

いわき物流センター建設、工場増設工事、マンション新築工事等

#### ② 対前年同月比減少地区

<県北地区> 13.3%の減

東北道福島JCTランプ橋、外科病院新築工事等

<県中地区> 8.2%の減

マンション新築工事、工場増築工事等

<白河地区> 1.1%の減

工場・倉庫新築工事、トラックターミナル建設工事等

<相双地区> 10.2%の減

原発保安対策工事、広野火災消波ブロック工事等

<会津地区> 23.9%の減

東邦銀行工事等

#### ■官公需の動向

対前年同月比 18.3%の増

#### ① 対前年同月比増加地区

<県北地区> 15.1%の増

霊山トンネル、医療科学センター新築工事、復興公営住宅工事等

<県中地区> 103.4%の増

環境創造センター、三森トンネル、堀口浄水場、復興公営住宅建設工事等

<相双地区> 52.7%の増

モックアップ施設、富岡町・浪江町減容化施設工事、海岸復旧工事等

#### ② 対前年同月比減少地区

<白河地区> 2.4%の減

白河中央中学校、新石川小学校建設工事等

<いわき地区> 27.0%の減

港湾災害復旧工事、復興公営住宅建設工事等

<会津地区> 30.9%の減

鶴城小学校管理棟建設工事等

## 鉄鋼・金属・一般機械製造業

### <各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、顧客各社の3月決算年度末の予算執行により、売上高・収益とも、やや好転傾向となった。前年同月比でも売上高・収益状況とも増加傾向となり、累計比でも昨年同程度の結果まで回復することができた。来年度の新年度予算等に基づく補修工事、新規設備等に今後期待したい。

## 卸売業

### <再生資源>

年度末の古紙入荷量も大きく増えることはなく、発生減は3月になっても同じ状況であった。鉄、非鉄の市場も価格は低調で、入荷減も相まって苦しい状況が続いている。わが業界において明るい材料がないまま新年度を迎えることになり、ますます危機感を募らせている。

## 小売業

### <共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

3月は昨年同月比で売上・客数ともに2桁減の実績となった。原因は、前年度消費税8%施行前の特需による売上があり、大きく影響した。前月比は売上、客数とも20%増の実績となった。労働者の確保が難しいことが気がかりである。

(県中地区のNショッピングセンター)

消費税8%導入も定着した感じで、来月からは売上の昨年比も100%を達成できるラインへと戻してくると思われるが、消費マインドは決して良好とはいえない。

### <石油>

3月は元売仕切価格が中旬以降も値下がりとなった。これにより、小売価格も軟化傾向となっている。

### <青果>

3月においては、気温の低下と春彼岸直前の雪の影響もあり、単価は高騰したものの積雪の影響で消費者の小売店への足も遠のき、取扱の増加にはならなかった。来月は桜まつりやデスティネーションキャンペーン等のイベントが開催されるので、少しでも小売店の活性化になるよう期待したい。

### <電機>

合展、個展により改善している。

## 商店街

### <福島市>

前年は消費税増税前の駆け込み需要で活気を感じられたが、今年はそれに比較すれば静かな月であった。中旬以降暖かい日が続く、街なかの通行者もやや増加し、後半にもその流れは継続、かつ卒業・新入学・異動での買い物客で若干であるが賑わいが戻ってきた。スポーツ関係イベントが開催されたことや、4月からのDCに向けての準備等により、迎える側として明るい雰囲気です。3月を過ごせていたように感じる。4月はDCの開始や花見山を訪れる観光客で活気に満ちた福島市になるであろう……ことを期待したい。

### <郡山市>

昨年の3月は、消費税増税前の駆け込み需要があったので、今年の3月は前年比で大きく割り込んでしまった。年度末の年間売上も前年比を下回り、震災後続いていた復興景気が下火になってきたような感じがする。それでも震災前から比較して駐車場売上は高水準で、商店街の来街者数も落ち込みは少ないようだ。防犯カメラの設置による安心・安全な商店街のPRや、定期的な歩行者天国の実施などによって新規店舗は年間数件増えているが、残念なことに撤退店舗も数件あるので、なかなか空き店舗解消には至らないのが現状。

### <南相馬市>

4月には「春の歩行者天国」を予定しており、多くの来街者で賑わうと思う。当組合も楽しさを前面に出したイベントを行う。全体としては低調が続いている。

### <会津若松市>

近辺の空き店舗に飲食店の出店が決まったようだ。全体に寒い日が多かったので、春物の出足は悪かったが冬物のセール品の動きがよかった。

### <いわき市>

昨年の駆け込み需要で前年の数字の壁は大きい。物販のほとんどの業種で前年割れ。各店、織り込み済みとはいえ、「2月が良かったから」という店舗もあったり、「入進学シーズン需要に期待」という店舗もあったので、ショックは大きい。下旬に暖かくなり、春物の動きが活発になってきたので、4月以降の回復に期待している。

## サービス業

### <旅館業>

(土湯温泉)

4月からのふくしまデスティネーションキャンペーンの盛り上がり、県内全体の観光に活況を与えてきた。県内各地の地域の宝を観光商品として磨き上げることが、風評被害の払しょくにもつながり、これからの福島県の創造的復興につながると思う。

### <理容業>

全体的には大きな変化もなく例年通りの状況のようだ。前半寒い日はあったが、雪が少ない分助かった。後半は暖かい日が続く少し活気が出てきたようだ。卒業や就職の準備等もあり、若い経営者の店や若いスタッフのいる店は忙しかったようだ。全体的に経営者が高齢化しているため、華やかさに欠け、活気が少ない。後継者を増やし、業界を元気にしなければ繁栄を取り戻せない。今、消費者は技術の高さより、ファッション性、オシャレ感を求めている。

### <廃棄物収集運搬業>

一般廃棄物関連は横ばい状態。当社の新工場が完成し、4月から本格的に動き始めた。ここ2か月くらいで約10名の雇用を行ったが、まだ不足している。

## 建設業

### <建設業>

(県一円)

平成26年度組合の金融事業については、人件費が大半を占める除染業務委託の資金需要が多かったことから、平常時の約5倍程度の融資累計額(215億円)となる。

(県南地区)

公共事業は建築、土木ともに減少しており民間住宅建築も減少傾向になっている。除染業務は一時保管場所の設置が遅れた地域で着手が遅れていたが、3月下旬から本格的に開始されている。

#### <管工事>

前月比で、給水設備申請が増加、排水設備申請が減少した。前年累計対比では、給水・排水設備申請とも減少した。

#### <専門工事>

東日本大震災から4年が経過した。各地で追悼行事が開催される一方で、建設業界では復興業務に押されていて追悼どころではないといった一面も感じられ、時間の流れというものを改めて感じさせられた。一方で、中小企業に対する新卒者の就活ガイダンスが開始されたが、肉体労働系への意識は低く感じられ、ちょうど震災の年に大学へ入学した世代ということもあ

て技術系を中心に人手不足が顕著になっている。高齢化が進む一方で、現場の技術を引き継ぐ人材の確保というものは地域を限定せずにこれからの問題となっていくものと感じられる。

## 運輸業

### <トラック運送>

(県北地区)

燃料価格は落ち着いてきた感があり、当組合員の収益環境は悪化していない。中間貯蔵施設への輸送を受注したい組合員もいるが、現時点では本格的な輸送開始時期が不明であるため、当面は各市町村の集積所への輸送業務を受注する予定である。

### <ハイヤータクシー>

厳しい状況が続いている。4月はデスティネーションキャンペーンが始まり、花見山観光、福島競馬開催もあり、動きが良くなることを期待している。

# マイナンバー事業主向け説明会のご案内

平成27年から住民票を有する全ての方にマイナンバー（個人番号）が通知されます。

また、法人には1法人1つの法人番号が指定されます。

マイナンバーは、安心・安全な仕組みで各機関が分散管理する個人情報をつなぐ役目を果たします。

### 個人のメリット

- ① 年金や福祉などの申請に必要な書類の添付を減らすことができ、住民の利便性が向上します。
- ② 年金などの社会保障では確実・正確な給付が可能となり、未払いや不正受給を解決できます。
- ③ 所得把握の正確性が向上するため、適正・公平な課税につながります。
- ④ 申請者には顔写真付きの「個人番号カード」が交付され、身分証明書になります。

マイナンバーの利便性を確実に担保するため、事業経営者等のみなさまもマイナンバーを扱います。

平成28年1月から始まるマイナンバーの利用について、事業主のみなさまが準備しなければならない事柄を、内閣官房・特定個人情報保護委員会の方を迎えて下記のとおり開催しますので、ご参加ください。

日 時：平成27年5月28日(木) 第1回 13:00~14:55

第2回 15:10~17:05

各回とも説明内容は同じ。それぞれ80名程度を想定

場 所：県中地方振興局3階 大会議室（郡山市麓山1-1-1）

講 師：内閣官房社会保障改革担当室 特定個人情報保護委員会

内 容：(1) 事業主向けガイドラインについて

(2) 事業主が留意すべき点について

申込み・問合せ先：福島県情報政策課番号制度担当

福島市中町8番2号

Tel 024-521-7136 Fax 024-521-7892

E-mail mynumber@pref.fukushima.lg.jp